

cado

取扱説明書

PTL-001

Aroma diffuser

PETAL 

001

重要

このたびは、カドーアロマディフューザー「PETAL 001」を
お求めいただき誠にありがとうございます。

ご使用前によくお読みのうえ、製品を正しく安全にお使いください。
本書はお読みになったあとも大切に保管してください。

CLUB CADO ご愛用者登録のご案内

お買い上げ製品をご登録いただくと、製品に関する充実したサポートや
会員限定のお得なセール情報などが届きます。
ぜひこの機会にご登録ください。

cado.com

cado

目次

安全上のご注意.....	4	準備 1：USB 電源を接続する / 充電する	23
警告	5	クレードル接続.....	23
注意	7	本体接続	24
バッテリーへの安全上のご注意	9	充電する	24
各部の名前	10	準備 2：電源を入れる	25
本体	10	電源を入れる.....	25
背面 (リアパネルを取り外した状態) ...	11	電源を切る	25
底面	11	オートパワーオフ機能	25
クレードル	12	準備 3：時計をセットする	26
USB ケーブル	12	時計を再セットする	28
設置について	13	準備 4：液剤をセットする	29
床面設置	13	準備 5：噴霧チャネル設定を行う.....	31
壁掛け設置	14		
使用環境について	17		
操作パネル	18		
操作ボタン	18		
液晶ディスプレイ	20		

目次

使い方	32	お手入れのしかた	53
噴霧する	32	噴霧口の清掃	54
噴霧レベルを変更する	33	本体の清掃	55
運転モードを変更する	34	長時間で使用にならないとき	55
液剤残量確認	36	故障かな?	56
バッテリー残量確認	37	仕様	59
異常検出機能	37		
設定モード	38		
スケジュール運転設定	39		
スケジュール運転確認	42		
スケジュール運転消去	43		
操作音設定	45		
画面消灯時間設定	46		
時計設定	47		
警告確認	49		
本体初期化	51		

安全上のご注意

ここでは事故を防ぐための重要な注意事項について記載してあります。

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を未然に防止するため、本書に記載されている内容は必ずお守りください。誤った取り扱いをした場合に生じる危害や損害の程度を区分した上で記載しています。

表示の説明



警告

「死亡または重傷を負うおそれがあること」を示します。



注意

「傷害を負う、または財産に損害を与えるおそれがあること」を示します。

図記号の説明



禁止

「してはいけない禁止事項」を示します。



指示

「必ずしなければならない強制事項」を示します。

警告

禁止

■ USBケーブルを破損させない。

ショートや断線して感電や火災の原因になります。加熱したり、傷つけたりしない。無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを載せたりしない。

■ 本体の定格電圧以外で使わない。

火災や感電の原因になります。

■ 下記の場所では充電・使用・保管・放置しない。

変色や変形、故障の原因になります。

- 火の近くや発熱器具の近くなど温度が非常に高い場所
- 直射日光の当たる場所
- 炎天下で窓を閉め切った車内

■ 分解、改造、修理しない。

火災や感電、ケガの原因になります。修理はお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

■ 本体を水につけたり、丸洗いしない。

本体内部の基板やバッテリーなどに水が入ると、ショートによる火災や、感電の原因になります。

■ 噴霧口、本体のすき間に針金などの金属を入れない。

ケガ・感電・ショート・発火の原因になります。

■ お手入れに塩素系、アルカリ性の洗剤を使わない。

洗剤から有毒ガスが発生し、健康を損なう原因になります。

■ 製品の目的以外の用途で使用しない。

本製品は推奨芳香液剤の噴霧・拡散を目的として設計されています。製品の目的とは異なる使い方をしないでください。

警告

指示

- **必ず付属のUSBケーブルを使用する。**
付属以外のUSBケーブルを使用すると、加熱などにより火災の原因になる場合があります。
- **使用しないとき、お手入れ、点検、移動の際は必ず運転を停止し、USBケーブルをはずす。**
不意に動作した場合、感電やケガの原因になります。
- **異臭や、機器の異常を感じたときは、使用をただちに中止する。**
USBケーブルをはずし本体の運転を停止したあと、サポートセンターまでご相談ください。
- **お年寄り、お子様、体の不自由な方、意思疎通が困難な方には、保護者や安全責任者から適切な指導監督を受けない限り、単独で使用させない。**
- **お子様が玩具として遊ばないように注意する。**
思わぬケガや誤飲、本体故障または感電の原因になります。
- **液剤の取り扱いに注意する。**
液剤の使用上の注意に関しては液剤ボトルやパッケージなどに記載されている注意事項をご参照ください。

注意

禁止

- **本製品に対応した液剤以外は使用しない。**
正常に動作しないばかりでなく、本体故障の原因になります。
- **不安定な場所には置かない。**
転倒すると、故障の原因や液剤が漏れ家財等に損害が出るおそれがあります。
- **落下するおそれのある場所には壁掛け設置しない。**
落下によるケガ、感電、故障の原因になります。
- **本体の上に物を置いたり、乗ったりしない。**
転倒により、破損・故障の原因になります。
- **本体の周囲に物を置かない。**
噴霧した液剤が付着し損害が出るおそれがあります。
- **直射日光の当たる場所やエアコン、暖房器具の風の当たる場所には置かない。**
本体の変形や変色、故障の原因になります。
- **凍結に注意する。**
凍結のおそれがあるときは、液剤ボトルを取り外し、使用を中止してください。
- **航空機や医療機器の近くで使わない。**
本体の電波が電子機器に影響を与えるおそれがあります。
- **車の電子キーに近い場所には置かない。**
本体の電波が干渉し、電子キーが誤動作することがあります。本体を電子キーから30cm以上離してください。
- **テレビやラジオの近くでは使わない。**
映像の乱れや雑音の原因になります。テレビやラジオからは、1m以上離して設置してください。
- **電磁調理器やスピーカーの近くなど、磁気の多い場所では使わない。**
磁気の影響で正常に動作しないことがあります。

注意

指示

- 本体のお手入れは定期的に行う。
お手入れを行わずに使用を続けると噴霧量の低下や故障の原因になります。
- 長時間使用しない場合は液剤ボトルを外し噴霧口のお手入れを行う。
噴霧口に残った液剤が固着して、噴霧しなくなるおそれがあります。
- 液剤が本体や周囲に付着した場合は、ただちにふき取る。
放置すると本体や家財等が変質、破損するおそれがあります。
- フロントパネルの指はさみに注意する。
フロントパネルを閉めるときは、ボトルトレ一部に手を入れないようにしてください。
- 使用中に体調の変化を感じた場合は、ただちに使用を中止する。
気分がすぐれなかったり、不快と感じた場合などは使用を中止してください。

バッテリーへの安全上のご注意

液漏れ、破裂、発熱、発火による大ケガ(やけどや失明など)を避けるため下記の注意事項を必ずお守りください。



■ バッテリーの液が漏れたときは、素手でさわらない。

• バッテリーの液が漏れたときは、サポートセンターにご相談ください。バッテリーの液が本体内部に残ることがあり、素手でさわるのは危険です。

- バッテリーの液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水でよく洗浄し、医師の診察を受けてください。
- バッテリーの液が衣服についた場合も、すぐにきれいな水で洗浄してください。やけどなどの原因になるおそれがあります。炎症やケガの症状がある場合は、医師の診察を受けてください。



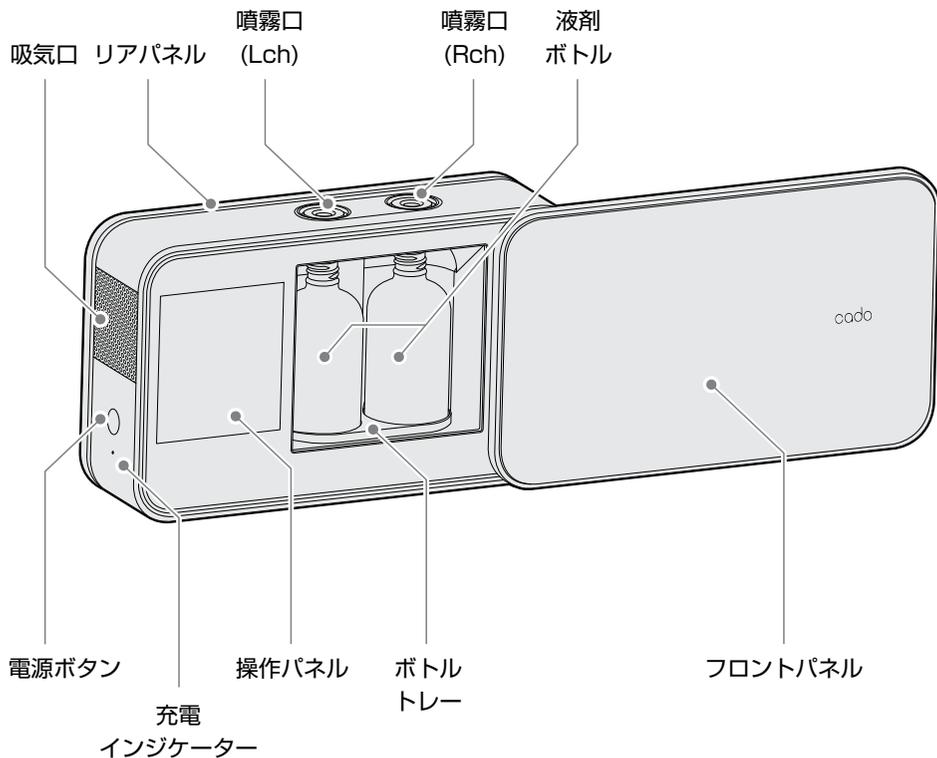
■ バッテリーは正しく取り扱う。

- 充電するときは付属のUSBケーブルを使用する。
- 加熱したり火の中に入れたりしない。

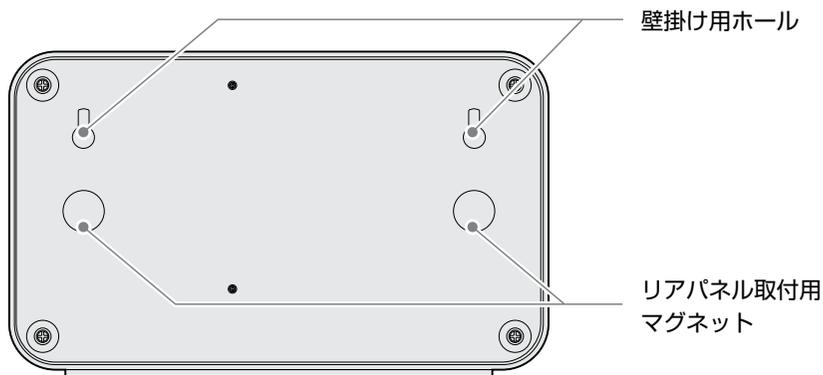
- 火や発熱器具の近く、直射日光が当たる場所、炎天下の車内など温度が非常に高い場所で充電、使用、保管、放置しない。
- バッテリーを分解しない。外装のチューブを傷つけたり、はがしたりしない。

各部の名前

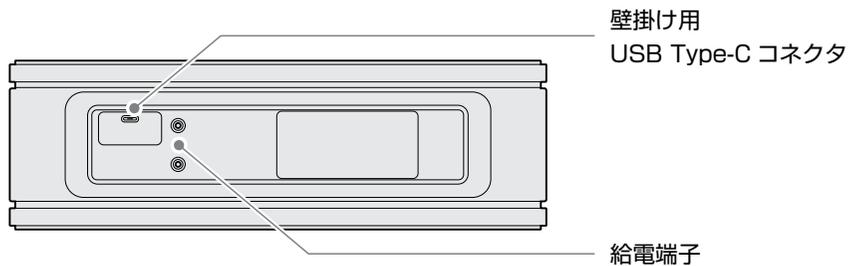
本体



背面（リアパネルを取り外した状態）

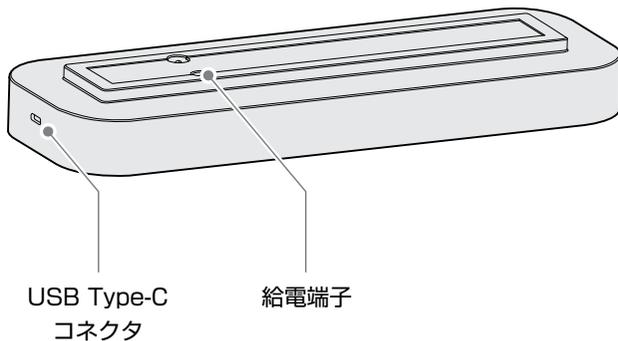


底面



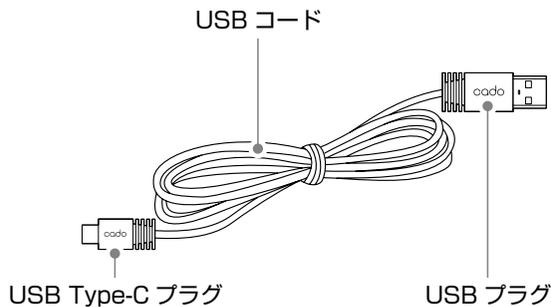
底面のUSB Type-Cコネクタは、本体を壁掛け設置する場合のみ使用できます。

クレードル



給電端子を濡らしたり、針金などの金属を入れないでください。給電端子間がショートするとUSB電源アダプターの破損や火災の原因になります。

USB ケーブル



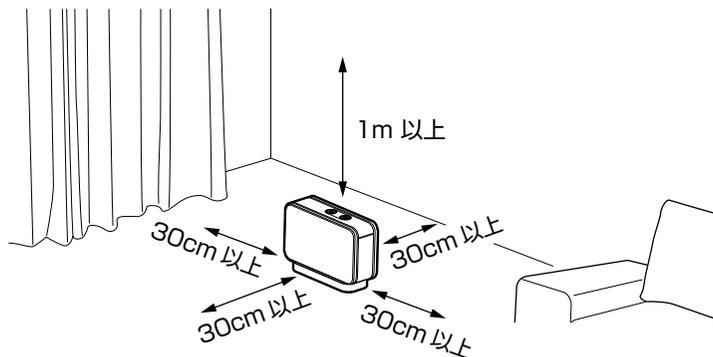
出力電流2A以上が供給可能なUSB電源アダプターを別途お求めください。

設置について

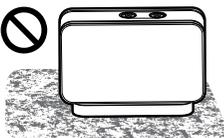


- 本体の周辺には物を置かずに下図に示すスペースを確保してください。
- 本体周囲の風向きによっては、さらにスペースが必要になる場合があります。設定が完了したら、必ず噴霧テストを実施してください。
- 噴霧した液剤の影響により家財への損害が想定される場所では使用しないでください。

床面設置



NO!



毛足の長いじゅうたんの上で使用しないでください。本機が傾いたり、ほこりなどがつまり火災や故障の原因となります。

NO!

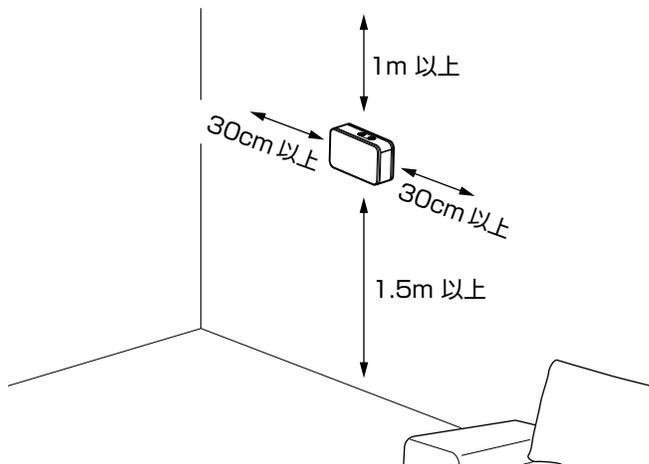


傾斜のある場所や不安定な場所、高い場所で使用しないでください。落下や転倒、誤動作の危険性があります。

壁掛け設置



- 壁掛け設置の場合は、本体を壁面に取り付けたあと落下しないことを必ず確認してください。また、万が一の落下に備え、人や物に被害を及ぼす場所、ビスの取り付けにより壁面が損傷するおそれのある場所には設置しないでください。
- 室内の風向きによっては液剤が壁面に付着し変質するおそれがあります。壁面および周囲の家財への損害が想定される場合は、壁掛け設置をしないでください。

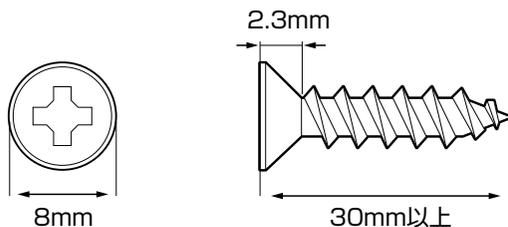


1. 事前にビスを取り付ける壁面の強度が充分にあることを確認してください。
(本体の重量は約3kgとなります)

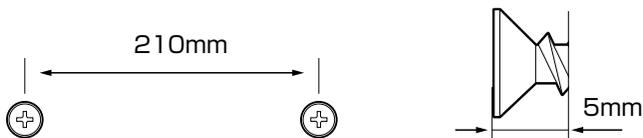


石膏ボードに製品を取り付ける場合は、本体の重量に充分耐えることのできる、市販のアンカープラグをご使用ください。

2. 壁面取り付け用ビスを用意します。(皿タッピングビス 呼び:4)

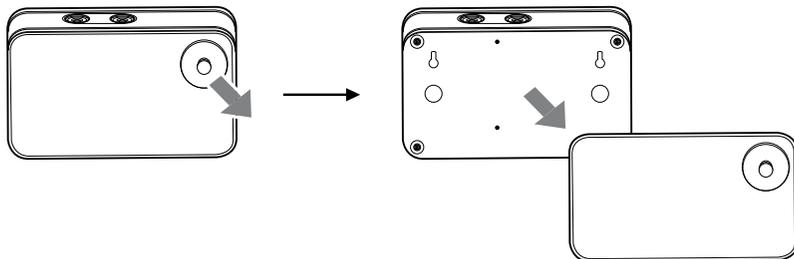


3. 壁面取り付け用ビスを210mm間隔で水平に壁面に取り付けます。このとき、ビスの部分が5mm露出するようにしてください。

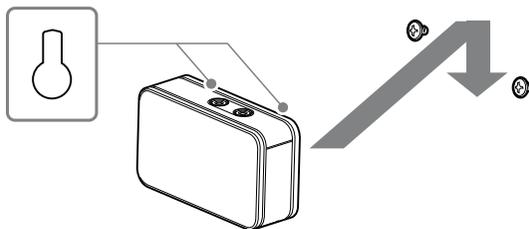


- ビスの取付強度を十分に確認してください。
- 本体を取り付ける壁面が平らであることを確認してください。凹凸のある壁面や湾曲した壁面には取り付けできません。

4. 本体のリアパネルを外します。リアパネルは直径50mm以上の吸盤を貼り付けると、取り外しやすくなります。



5. 本体の壁掛け用ホール2ヶ所をビスに掛けたあと下方向に動かして固定します。本体が壁面に固定され、落ちないことを確認します。



本体を操作する際は、本体が外れないよう充分に注意してください。また、液剤ボトルを取り付けたり交換する場合は、壁面から本体を外してください。

使用環境について

- 本機は屋内専用です。屋外では使用しないでください。
- 広い空間に設置する場合は、製品を中央に設置することを推奨します。噴霧レベルを調整しても香りが弱いと感じる場合は、サーキュレーター等の併用をご検討ください。
- 意図しない方向に液剤が拡散する可能性がありますので、設置する環境の空調の影響も配慮して設置をしてください。
- 噴霧する液剤の特性により、低温時または高温時に正常に液剤が噴霧できないおそれがあります。本機に内蔵された温度センサーにて低温または、高温を検出すると、警告インジケーター  が点灯します。ご使用になる環境の温度を確認してください。



警告インジケーター  が点灯した場合は、設定モード「警告確認」⇒p.49で警告内容を確認することができます。

操作パネル

本体の操作はフロントパネル内側にある操作ボタンと液晶ディスプレイを使用します。

操作ボタン



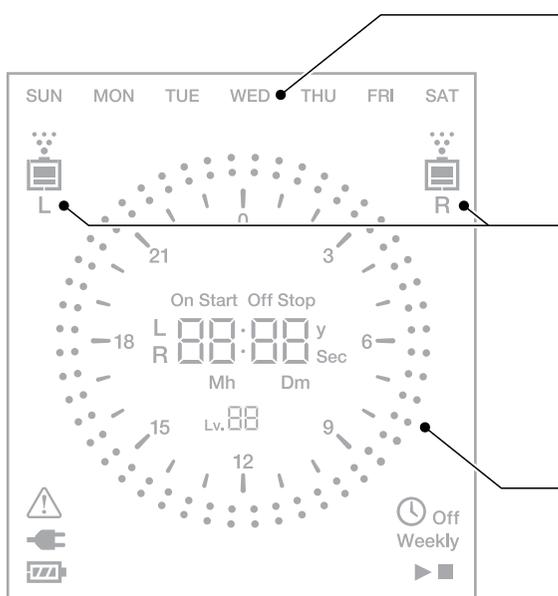
- ボタン操作するときは、上図のように操作ボタンが全て見える位置までフロントパネルを開けてください。(操作ボタンが全て見えない状態ではボタン操作が無効となります)
- 液晶ディスプレイはタッチパネルではありませんので画面を押しても操作できません。画面を強く押さないでください。

ボタン名	運転モード	設定モード
L/R  噴霧チャンネル切替ボタン	押すたびに噴霧チャンネルを切り替えます。 (Lch / Rch / L+Rch / ALL-OFF)	スケジュール運転の噴霧チャンネル選択を行います。
MODE  モードボタン	押すたびに運転モードが切り替わります。 (連続運転 / スケジュール運転 / 自動OFFタイマー運転)	
STOP SETTING  停止 / 設定ボタン	噴霧運転中にボタンを押すと噴霧運転を停止します。 運転停止中にボタンを押すと設定モードに入ります。	設定項目のキャンセル操作を行います。 設定項目選択中にボタンを押すと、運転モードに戻ります。
PLAY ENTER  再生 / 確定ボタン	噴霧停止中にボタンを押すと噴霧運転を開始します。	設定項目の確定操作を行います。
DOWN  ダウンボタン	噴霧レベルのダウンを行います。	設定項目の送り操作や数値のダウンを行います。
UP  アップボタン	噴霧レベルのアップを行います。	設定項目の戻し操作や数値のアップを行います。

液晶ディスプレイ



液晶ディスプレイは表示されてから約30秒(初期設定)経過すると、自動で消灯します。ボタンやフロントパネルの開閉を検出すると、液晶ディスプレイが再表示されます。



曜日表示

通常モードでは現在の曜日を表示します。設定モードではスケジュール運転や時計設定の曜日選択に使用します。

ボトルインジケータ

ボトル有無、液剤残量、噴霧状態を表示します。

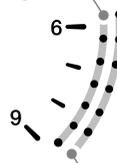
噴霧 噴霧 液剤 液剤
 選択 未選択 残量少 残量無



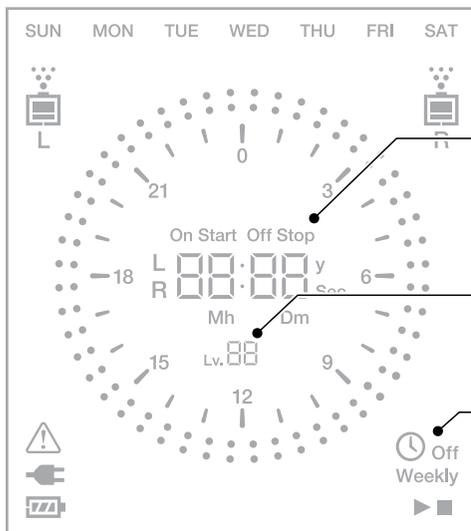
噴霧パターン表示部

連続運転 / スケジュール運転 / 自動OFFタイマー運転時の噴霧パターンを30分単位でドット表示します。

内側 Rch



外側 Lch



中央表示部

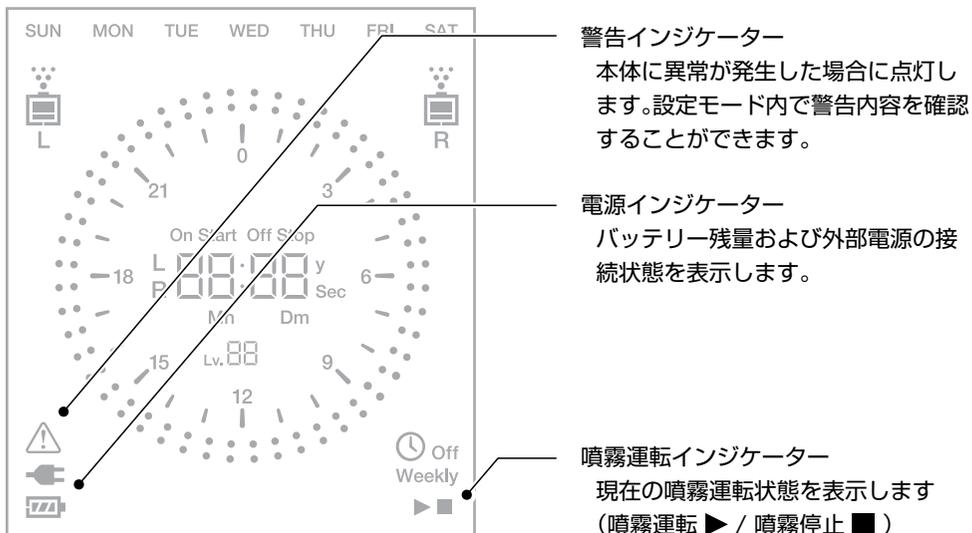
現在時刻や設定項目などを表示します。

噴霧レベルインジケータ

現在の噴霧レベルを表示します。
(Lv.0~Lv.30)

運転モードインジケータ

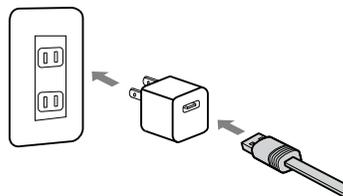
現在の運転モードを表示します。
(表示なし:連続運転)



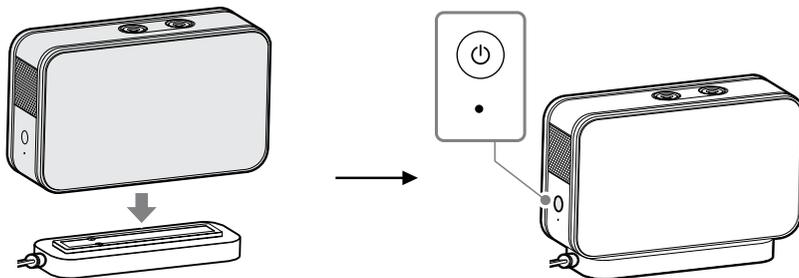
準備 1 : USB 電源を接続する / 充電する

クレードル接続

1. クレードルにUSBケーブルのType-Cプラグを接続します。
2. USBケーブルのもう一端を市販のUSB電源アダプターに接続したあと、コンセントに差し込みます。



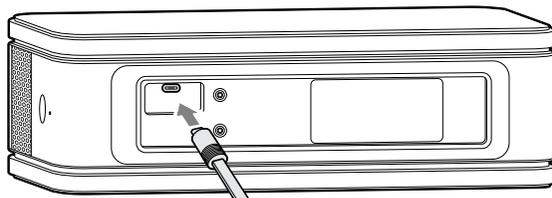
3. 本体をクレードルにセットします。本体側面の充電インジケータが点灯し充電を開始します。



出力電流2A以上が供給可能なUSB電源アダプターを別途お求めください。

本体接続

壁掛け設置する場合のみ、本体底面のUSBコネクタから電源を接続することができます。



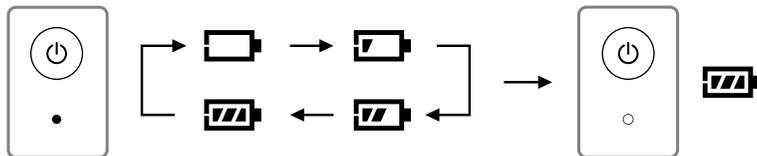
本体の転倒やUSBケーブル破損の原因になりますので、本体底部にUSBケーブルを接続した場合は、本体を床に置いたり、クレードルにセットして使用することはできません。

充電する

USB電源を接続することで、内蔵バッテリーの充電が始まります。本体を運転しながら充電することも可能です。

充電中は本体側面の充電インジケーターが点灯します。また、バッテリー残量表示が以下のようにゆっくり変化し続けます。

充電が完了すると、本体側面の充電インジケーターが消灯します。またバッテリー残量表示が100%の状態になります。(本体の電源がオフの場合、満充電まで約8時間掛かります)

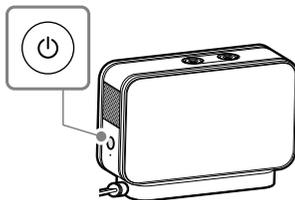


長時間ご使用にならないときは、バッテリー性能を維持するために、半年に一度は充電してください。

準備 2：電源を入れる

電源を入れる

電源ボタンが点灯するまで、電源ボタン  を押すと本体の電源がオンします。



電源を切る

電源ボタンが消灯するまで、電源ボタン  を押すと本体の電源がオフします。

オートパワーオフ機能

内蔵バッテリーのみで使用がかつ、噴霧停止(■)中に60分以上本体操作がない場合は自動で電源がオフします。



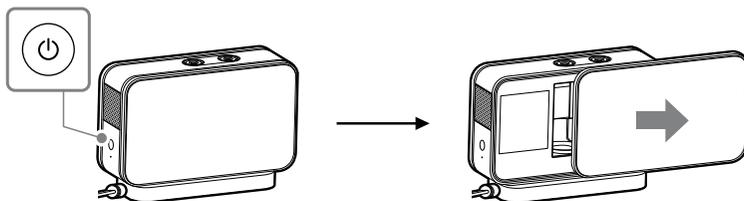
USB電源接続中はオートパワーオフ機能は無効となります。

準備 3：時計をセットする

本機をはじめてご使用になる場合、約3ヶ月以上ご使用にならなかった場合などは、運転を開始する前に、本体に内蔵されている時計を設定する必要があります。

! 時計設定を行わないと本機を使用することができません。

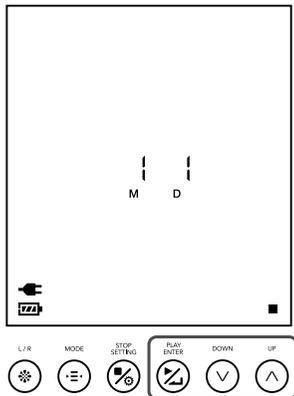
1. 本体の電源ボタン  を押し本体の電源を入れ、フロントパネルを開けます。



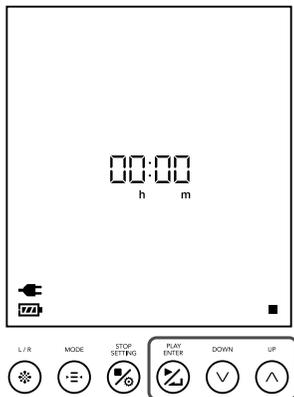
2. 中央表示部に年表示が点滅したら、アップ/ダウンボタン \wedge / \vee を押して数字を選び、再生/決定ボタン $\blacktriangleright / \blacktriangleleft$ を押し、年を設定します。



3. 中央表示部に月日が点滅したら、アップ/ダウンボタン \wedge / \vee を押して数字を選び、再生/決定ボタン \blacktriangleright / \blacktriangleleft を押し、月日を設定します。

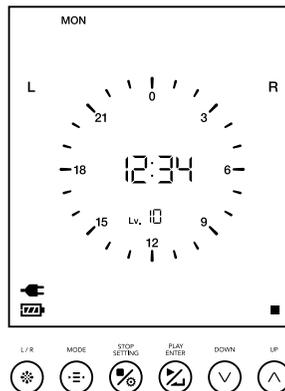


4. 中央表示部に時分が点滅したら、アップ/ダウンボタン \wedge / \vee を押して数字を選び、再生/決定ボタン \blacktriangleright / \blacktriangleleft を押し、時分を設定します。



時刻は24時間表記となります。(0:00~23:59)
12時間表記はできません。

5. 時計設定が完了すると通常モード画面に戻ります。



時計を再セットする

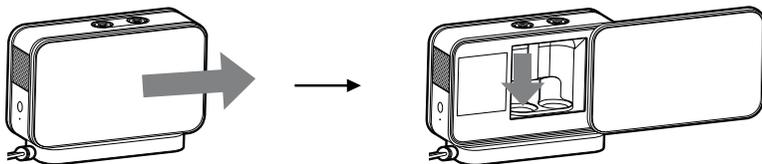
設定モード「時計設定」⇒p.47の手順にしたがい、時計を再設定することができます。

準備 4：液剤をセットする



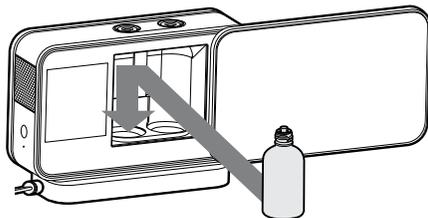
- 推奨の液剤を必ず使用してください。推奨液剤以外の使用により発生した不具合や損害については一切の責任を負いかねます。
- 使用する液剤の注意事項を事前に確認してください。

1. 電源が入った状態で、ボトルトレイの右端までフロントパネルを開きます。(ボトルトレイが下がり始めると、フロントパネルが少し重くなりますが、そのまま開いてください)



フロントパネルを完全に開かないと、ボトルトレイが一番下まで降りず、液剤ボトルをセットすることができません。

2. 液剤ボトルのキャップを外し、液剤ボトルを1本または2本、ボトルトレイに取り付けます。

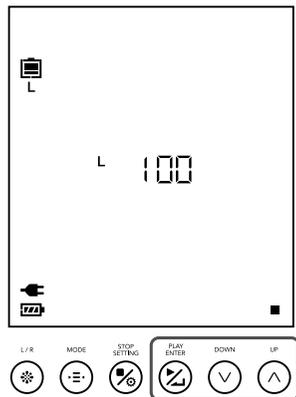


液剤ボトルを取り付ける時は液剤ボトル先端部を先に本体上部にくぐらせたあと、ボトルトレイに液剤ボトルを置いてください。また、取り外す時は、液剤ボトルを持ち上げてから、ボトル底部を先に取り出すとスムーズに取り外せます。

3. 液剤ボトルをボトルトレイにセットすると液剤残量を設定する画面が表示されます。本体で保持している液剤残量が10パーセント単位で表示されます。(初期設定:100パーセント)

液剤ボトルに入っている液剤の残量を確認した上で、アップ/ダウンボタン \wedge / \vee を押して、最も近い液剤残量を10パーセント単位で選び、再生/決定ボタン \blacktriangleright / \blacktriangleleft を押し、液剤残量を設定します。

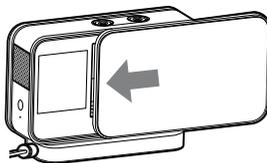
設定した液剤残量を元に、運転時間と噴霧レベルから液剤残量の目安を算出します。(「液剤残量確認」⇒p.36)



- ❗ 液剤ボトルを2本同時にセットした場合には、先にセットしたボトルの残量設定を行ったあと、もう一方の液剤残量設定画面が表示されます。
- 液剤残量を設定せずに、フロントパネルを閉じたり、電源をオフした場合は、最後に保持した液剤残量が有効となります。



4. 液剤トレイが見えなくなる位置までフロントパネルを閉じます。(ボトルトレイが上昇し液体ボトルがセットされます)



準備 5：噴霧チャンネル設定を行う

液剤ボトルをセットしたら噴霧チャンネルの設定を行います。

噴霧チャンネル切替ボタン ※ を押し、噴霧させたいチャンネルを選択します。

ボトルインジケータは下記の順に変化します。



- 液剤ボトルがセットされていないチャンネルは噴霧選択することができません。また、噴霧選択されているチャンネルのボトルが取り外された場合は、噴霧設定が自動で解除されます。
- 液剤残量が0パーセントの場合は、噴霧選択しても液剤が噴霧されません。
- Lch+Rchの噴霧設定を行った場合は、LchとRchが交互に噴霧されます。これは同一の液剤を2本使用することで、見かけ上液剤の寿命を2倍にするための機能です。異なる種類の液剤を使用すると、噴霧した液剤が空気中で混ざるため、意図しない香りになるおそれがあります。



使い方

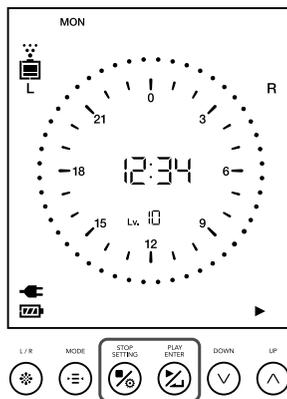
噴霧する

噴霧停止中に再生/決定ボタン **▶/◀** を押します。

噴霧運転インジケーターが **■** から **▶** に変化して噴霧運転を開始し、噴霧選択されたチャンネルの噴霧口から、液剤が間欠噴霧されます。

液剤噴霧中は、ボトルインジケーターの噴霧アイコン **☼** が高速点滅して、液剤噴霧中であることをお知らせします。

噴霧運転中に停止/設定ボタンを押す **■/⚙** と、噴霧運転インジケーターが **▶** から **■** に変化して、噴霧運転を停止します。



- 噴霧チャンネルがLch/Rchのいずれも選択されていない場合は、噴霧運転を開始しても液剤噴霧されません。「準備5:噴霧チャンネル設定を行う」⇒p.31の手順にしたがい、Lch/Rchいずれかのチャンネルを選択してください。
- 選択したチャンネルの液剤残量が0パーセントの場合は、液剤が噴霧されません。(ボトルインジケーター **☼** が高速点滅します)液剤の残量を確認の上、残量を再設定してから使用してください。(「準備4:液剤をセットする」⇒p.29)
- 噴霧運転中も噴霧チャンネルの切り替えが可能です。(「準備 5:噴霧チャンネル設定を行う」⇒p.31)

噴霧レベルを変更する

噴霧中または、噴霧停止中にアップ/ダウンボタン \wedge / \vee を押して、お好みの噴霧レベルに設定します。ボタンを押すごとに噴霧レベルインジケーターが Lv. 0 (レベル0) から Lv. 30 (レベル30) の範囲で変化します。

噴霧レベルは噴霧間隔の調整で行います。Lv. 0 (レベル0) では噴霧が停止します。Lv. 1 (レベル1) から噴霧レベルをアップすることで噴霧間隔が短くなっていきます。



香りの拡散には時間がかかりますので、新しい空間に設置する場合は一定時間経過したあとの空間の香りを確認しながら Lv. 1 (レベル1) から少しずつ噴霧レベルを上げて調整することをおすすめします。



運転モードを変更する

噴霧中または、噴霧停止中にモードボタン・を押すことで運転モードを変更します。
運転モード(インジケーター)は下記の順に切り替わります。

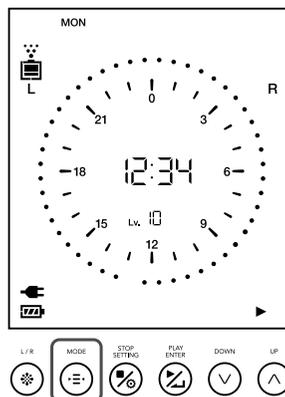


連続運転モード

連続運転を行います。

選択した噴霧チャンネルの噴霧パターンの表示部のドットが全点灯します。

- Lch選択 : 外周側の噴霧パターン部が全点灯
- Rch選択 : 内周側の噴霧パターン部が全点灯
- Lch+Rch選択 : 外周 + 内側の噴霧パターン部が全点灯
- ALL-OFF : 噴霧パターン部が消灯 (未噴霧)

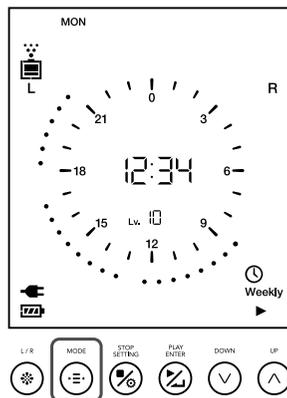


現在時刻を噴霧パターン部のドット点滅でお知らせします。

スケジュール運転モード

設定した運転スケジュールにしたい噴霧運転を行います。現在の曜日で設定済みの噴霧パターンのドットが表示されます。

「スケジュール運転設定」⇒p.39にしたい、事前に噴霧パターンを設定してください。

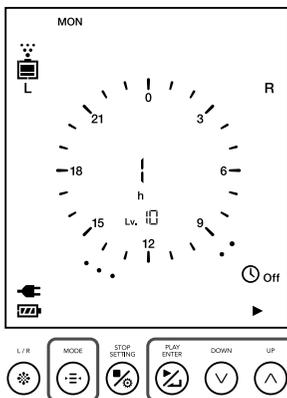


- スケジュール運転中は、あらかじめ設定された噴霧パターンにしがって噴霧動作を行うため、噴霧チャンネル切替ボタンが無効となります。
- 工場出荷時や本体を初期化したあとは運転スケジュールの設定が未設定のため、スケジュール運転モードを選択しても液剤が噴霧されません。

自動OFFタイマー運転モード

一定時間経過後に自動で運転を停止し、本体の電源をオフします。自動OFFタイマーモードを選択すると、中央表示部に「1h」という表示が点灯しますので、アップ/ダウンボタン \wedge / \vee を押して、電源オフまでの時間(1~23時間)を選択し、再生/決定ボタン \blacktriangleright / \blacktriangleleft を押して、タイマー運転を開始します。

タイマー運転モード中は、運転残り時間に連動して噴霧パターンのドットが表示されます。



- あらかじめ噴霧チャンネル設定を行い、噴霧運転を開始しておく必要があります。
- タイマー運転モードで、モードボタンを押すと連続運転モードになり、自動OFFタイマー運転モードがキャンセルされます。
- 自動OFFタイマー運転モード中も噴霧チャンネルの切り替えが可能です。

液剤残量確認

「準備4:液剤をセットする」⇒p.29で設定した液剤残量と噴霧時間をもとに、液剤の残量を算出し、ボトルインジケータに液剤残量の目安を表示します。

液剤噴霧中に液剤残量が0パーセントになった場合はボトルインジケータ  が高速点滅し、噴霧不可であることをお知らせします。

ボトルインジケータ	液剤残量 (%)
	30%~100%
	30%以下
	0% (噴霧不可)

液剤がなくなったら、「準備4:液剤をセットする」⇒p.29の手順にしたがい、新しい液剤ボトルに交換し、再度残量設定をしてください。



- 液剤噴霧量は液剤の種類や噴霧温度によっても変化するため、実際の残量とずれることがあります。
- 液剤ボトル内に液剤が残っているのに、液剤残量表示が0パーセントになった場合は、フロントパネルを右端まで開けて、一度液剤ボトルを取り外した後、もう一度セットすることで、液剤残量の再設定が可能になりますので、お試しください。

バッテリー残量確認

運転中は、電源インジケータでバッテリー残量を確認することができます。

バッテリー残量が0パーセントになると、中央表示部が 点滅表示しバッテリー充電をお知らせします。

「準備1：USB電源を接続する / 充電する」⇒p.23の手順にしたがい、バッテリーを充電してください。

電源インジケータ	バッテリー残量
	70%以上～100%
	40%以上～70%未満
	10%以上～40%未満
(点滅)	10%未満
(点滅)	0%



USB電源接続中は外部電源マーク が点灯し、外部電源接続中であることをお知らせします。

異常検出機能

本体に異常が発生した場合は、警告インジケータ が点灯します。

設定モード「警告確認」⇒p.49で警告の内容を詳細を確認することができます。

設定モード

噴霧停止(噴霧運転インジケーターが ■)の状態では停止/設定ボタン ■ /⚙ を押すと設定モードに入ります。アップ/ダウンボタン ^ / v を押して、設定項目を選択し、再生/決定ボタン ▶ / ◀ で項目確定し、詳細設定を行います。

設定項目	説明
Sc Hd	スケジュール運転設定 スケジュール運転の噴霧パターン設定を行います。
Ch Sc	スケジュール運転確認 スケジュール運転の曜日ごとの設定パターンを確認します。
CL Sc	スケジュール運転消去 スケジュール運転の設定を消去します。
BE EP	操作音設定 操作音を設定します。
dISP	画面消灯時間設定 画面が消灯するまでの時間を設定します。
CL OC	時計設定 本体に内蔵されている時計を設定します。
Er ro	警告確認 警告発生内容を確認します。
Init	本体初期化 工場出荷時の設定に戻します。



設定モードでは設定項目を選択し、再生/決定ボタン ▶ / ◀ を押すごとに、詳細設定に進み、停止/設定ボタン ■ /⚙ を押すごとに設定をキャンセルし、ひとつ前の設定項目に戻ります。停止/設定ボタン ■ /⚙ を繰り返し押すことで設定モードを終了し、運転モードに戻ります。

スケジュール運転設定

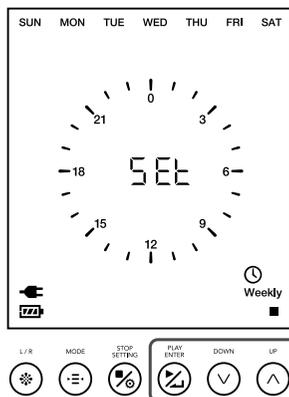
スケジュール運転の噴霧パターン設定を行います。

1. 設定モードでアップ/ダウンボタン \wedge / \vee を押して、Sc Hd を選択し、再生/決定ボタン \blacktriangleright / \blacktriangleleft を押しスケジュール運転の設定を開始します。



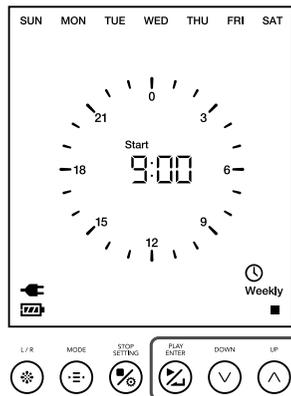
2. 中央表示部に Sc H が表示されたらアップ/ダウンボタン \wedge / \vee を押してスケジュール運転設定する曜日を選択し、再生/決定ボタン \blacktriangleright / \blacktriangleleft を押して確定します。曜日の選択は下記の順となります。

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	(全ての曜日)
	MON	TUE	WED	THU	FRI		(月曜日から金曜日)
SUN							(日曜日)
	MON						(月曜日)
		TUE					(火曜日)
			WED				(水曜日)
				THU			(木曜日)
					FRI		(金曜日)
						SAT	(土曜日)

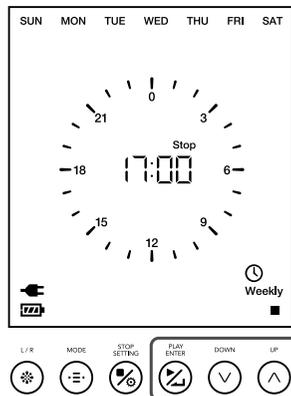


全ての曜日または、月曜日から金曜日のパターンを設定する場合は、該当する曜日の設定済み噴霧パターンがクリアされます。

3. 中央表示部に **Start** が表示されたら、アップ / ダウンボタン \wedge / \vee を押して、スケジュール運転の開始時刻を選択し、再生/決定ボタン \blacktriangleright / \blacktriangleleft を押します。



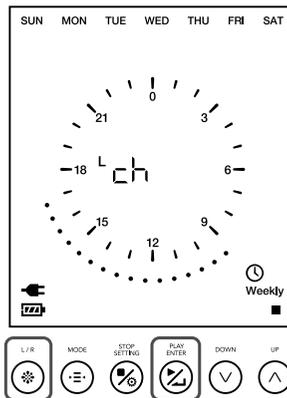
4. 中央表示部に **Stop** が表示されたら、アップ/ダウンボタン \wedge / \vee を押して、スケジュール運転の終了時刻を選択し、再生/決定ボタン \blacktriangleright / \blacktriangleleft を押します。



5. 中央表示部に「Lch」が表示されたら、噴霧チャンネル切替ボタン  を押して噴霧したいチャンネルを選択します。(Lch/Rch/L+Rch/ALL-OFF:表示なし)
 選択したチャンネルの噴霧パターンのドットが連動して点灯しますので再生/決定ボタン  /  を押して設定を完了します。

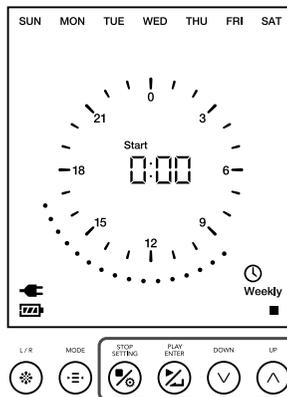


- 噴霧選択したチャンネルの液剤ボトルがセットされていない場合は、スケジュール運転を開始しても液剤が噴霧されません。
- 噴霧チャンネル選択でALL-OFFを選択した場合は、開始時刻から終了時刻の範囲の噴霧パターン設定がクリアされます。



6. 中央表示部に再度 **Start** が表示されたら、3.以降の手順にしたがい、噴霧パターン設定をさらに追加することができます。

設定を完了したら、停止/設定ボタン  /  を2回押すと設定項目選択に戻ります。



スケジュール運転確認

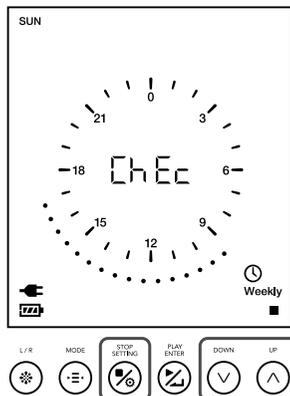
スケジュール運転の曜日ごとの設定パターンを確認します。

1. 設定モードでアップ/ダウンボタン \wedge / \vee を押して、 Ch Sc を選択し、再生/決定ボタン \blacktriangleright / \blacktriangleleft を押します。



2. 曜日表示部に **SUN** が表示され、日曜日に設定済みの噴霧パターンのドットが表示されます。(未設定の場合はドットが表示されません)
アップ/ダウンボタン \wedge / \vee を押して曜日を切り替えることで該当する曜日の噴霧パターン設定を確認することができます。

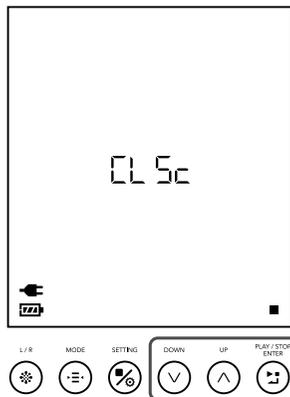
確認を終了したら、停止/設定ボタン \blacksquare / gear を1回押すと設定項目選択に戻ります。



スケジュール運転消去

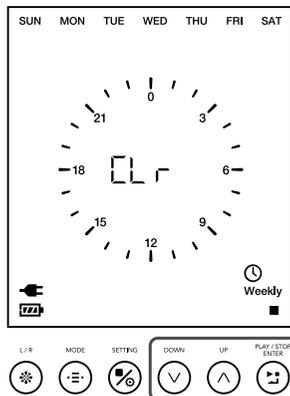
スケジュール運転の設定を消去します。

1. 設定モードでアップ/ダウンボタン \wedge / \vee を押し、 $[L] [S]$ を選択し、再生/決定ボタン $\blacktriangleright / \blacktriangleleft$ を押しします。



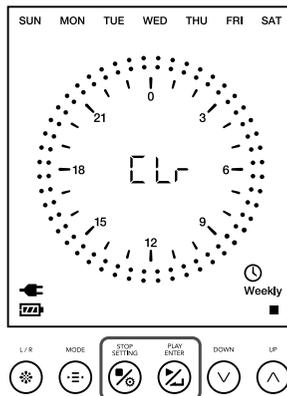
2. 中央表示部に $[L] [r]$ が表示されたらアップ/ダウンボタン \wedge / \vee を押し、スケジュール運転を消去する曜日を選択し、再生/決定ボタン $\blacktriangleright / \blacktriangleleft$ を押し、確認します。曜日の選択は下記の順となります。

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	(全ての曜日)
	MON	TUE	WED	THU	FRI		(月曜日から金曜日)
SUN							(日曜日)
	MON						(月曜日)
		TUE					(火曜日)
			WED				(水曜日)
				THU			(木曜日)
					FRI		(金曜日)
						SAT	(土曜日)



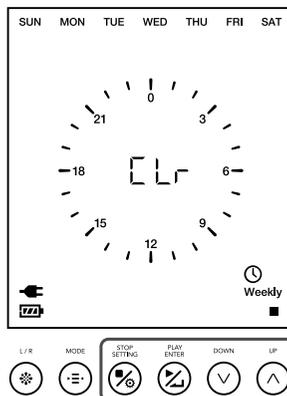
単独の曜日を選択した場合は、設定済みの噴霧パターン表示部のドットが連動して点灯します。

3. 中央表示部の「L」表示と噴霧パターンの全てのドットが点滅し、消去確認を行います。消去する場合は、再生/決定ボタン **▶/▲** を押します。
(キャンセルする場合は、停止/設定ボタン **■/⚙** を2回押すと設定項目選択に戻ります)



4. 噴霧パターンの消去が完了すると噴霧パターンの全てのドットが消灯し、曜日表示部が点滅します。
2.以降の手順にしたがい、噴霧パターン設定を続けて消去することができます。

消去が完了したら、停止/設定ボタン **■/⚙** を押すと設定項目選択に戻ります。



操作音設定

操作音を設定します。

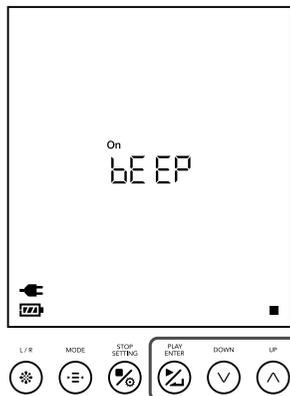
1. 設定モードでアップ/ダウンボタン \wedge / \vee を押して、bEEP を選択し、再生/決定ボタン $\blacktriangleright / \blacktriangleleft$ を押します。



2. 中央表示部に **On** または **Off** が表示されたら、アップ/ダウンボタン \wedge / \vee を押して、操作音のオン / オフを選択し、再生/決定ボタン $\blacktriangleright / \blacktriangleleft$ を押します。

操作音オフを選択すると、再び操作音オンに設定するまで操作音が鳴らなくなります。

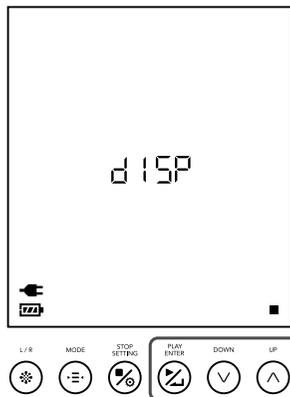
設定が完了すると、自動で設定項目選択に戻ります。



画面消灯時間設定

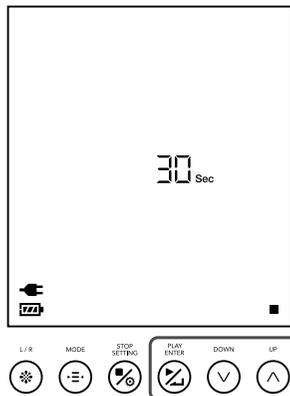
液晶ディスプレイが消灯するまでの時間を設定します。

1. 設定モードでアップ/ダウンボタン \wedge / \vee を押して、 $d\ 15P$ を選択し、再生/決定ボタン \blacktriangleright / \blacktriangleleft を押します。

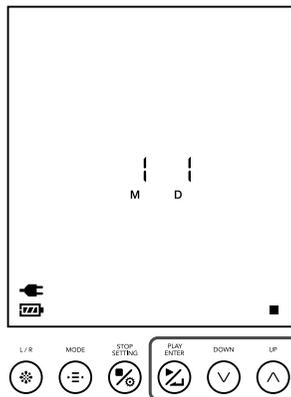


2. 中央表示部に画面消灯までの秒数表示されたら、アップ/ダウンボタン \wedge / \vee を押して、お好みの時間を選択し、再生/決定ボタン \blacktriangleright / \blacktriangleleft を押します。(5秒から300秒の範囲で設定できます)

設定が完了すると、自動で設定項目選択に戻ります。

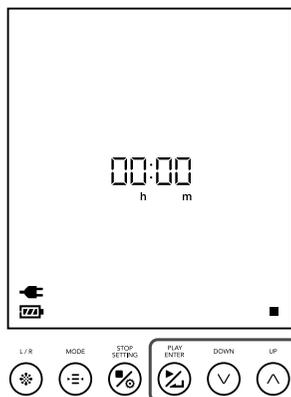


3. 中央表示部に月日が点滅したら、アップ/ダウンボタン \wedge / \vee を押して数字を選び、再生/決定ボタン \blacktriangleright / \blacktriangleleft を押し、月日を設定します。



4. 中央表示部に時分が点滅したら、アップ/ダウンボタン \wedge / \vee を押して数字を選び、再生/決定ボタン \blacktriangleright / \blacktriangleleft を押し、時分を設定します。

操作音の設定が完了すると、自動で設定項目選択に戻ります。

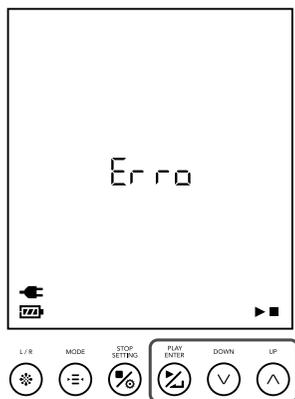


時刻は24時間表記となります。(0:00~23:59)
12時間表記はできません。

警告確認

本体に発生している警告を確認することができます。いずれかの警告が発生している場合は、警告インジケーター \triangle が点灯します。

1. 設定モードでアップ/ダウンボタン \wedge / \vee を押し、Errorを選択し、再生/決定ボタン \blacktriangleright / \blacktriangleleft を押します。



2. 中央表示部に警告番号が表示されます。警告が何も発生していないときは Error と表示されます。

また、いずれかの警告が発生しているときは、警告インジケーター \triangle の点灯に合わせて中央表示部に警告番号が表示されます。(例: Err 01)

複数の警告が発生している場合は、アップ/ダウンボタン \wedge / \vee を押し、すべての警告番号を確認することができます。

確認が完了したら、停止/設定ボタン \blacksquare / gear を押しと設定項目選択に戻ります。



警告番号の一覧は下記となります。

警告番号 例 E r 0 1	警告内容
01	動作温度範囲外(低温)
02	動作温度範囲外(高温)
03	ボトルトレイ検出異常
04~07	噴霧回路異常
08	FAN異常
09	外部電源異常
10	フロントパネル開閉検出異常
11~12	バッテリー異常
13~	その他の異常

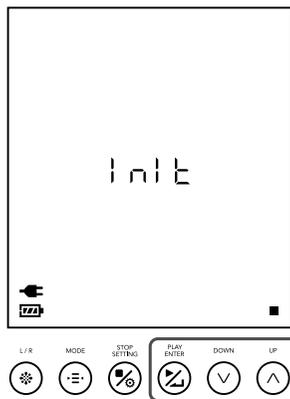


動作温度範囲外の警告が発生している場合は、ご使用になる環境の温度を確認してください。それ以外の警告が連続して表示する場合は、本体に不具合が発生している可能性がありますので、お買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

本体初期化

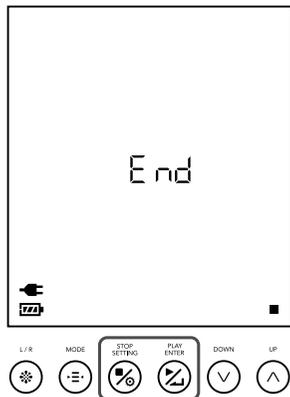
本体を初期化し、工場出荷時の状態に戻します。

1. 設定モードでアップ/ダウンボタン \wedge / \vee を押して、`Init` を選択し、再生/決定ボタン \blacktriangleright / \blacktriangleleft を押します。



2. 中央表示部の `Init` が点滅し、初期化の確認を行います。消去する場合は、再生/決定ボタン \blacktriangleright / \blacktriangleleft を押します。
(キャンセルする場合は、停止/設定ボタン \blacksquare / gear を2回押すと設定項目選択に戻ります)

初期化が完了すると、中央表示部に `End` が表示されます。停止/設定ボタン \blacksquare / gear を押すと設定項目選択に戻ります。

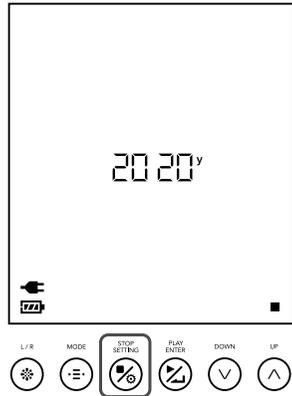


3. 停止/設定ボタン  /  を2回押すと設定モードを終了し、工場出荷の状態(時計設定画面)に戻ります。

再度ご使用になる場合は、「準備 3:時計をセットする」⇒p.26の手順にしたがい、時計設定を行ってください。



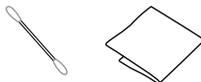
出荷時の状態を保持したまま使用を終了する場合は、そのまま電源ボタン  を押し、本体の電源をオフにします。



お手入れのしかた

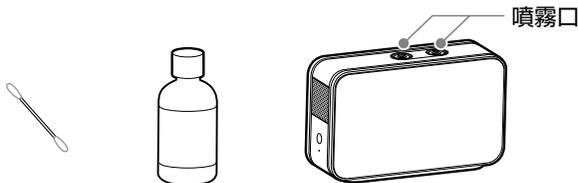
- 本体の性能を維持するために、定期的なお手入れが必要です。
- お手入れをせずに使用を続けると、噴霧不良や噴霧口の故障の原因となります。定期的にお手入れを行ってください。(液剤ボトル1本ごとのお手入れを推奨)
- お手入れの際には、必ず液剤ボトル、USBケーブルをはずし、本体の電源を切り、すべての運転を停止してください。

市販の綿棒や、やわらかい布など用意すると便利です。



かたい布を使用したり、本体を強くふいたりしないでください。本体の表面が傷つく原因になります。

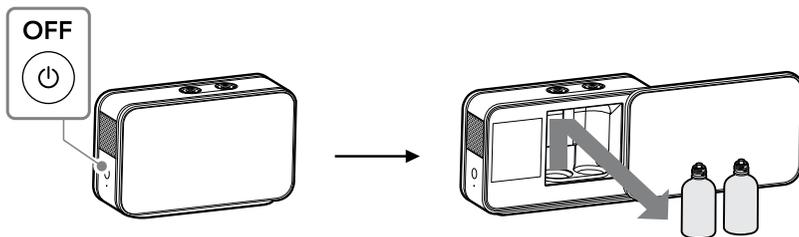
噴霧口のお手入れは、市販のエタノールと綿棒を使います。



本体破損の原因になりますので、噴霧口以外のお手入れにエタノールは使用しないでください。

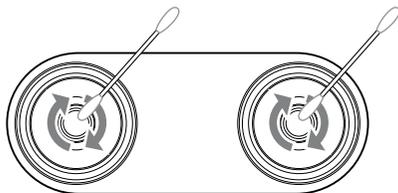
噴霧口の清掃

1. クレードルまたはUSBケーブルを外し、本体の電源を切ったあと、フロントパネルを開け液剤ボトルを全て外します。



取り外した液剤ボトルはキャップを取り付けてください。

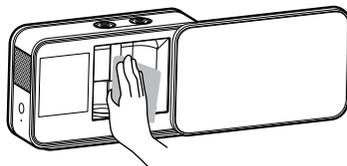
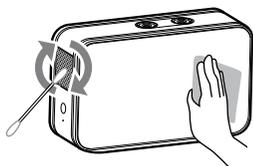
2. 綿棒にエタノールをつけて軽く噴霧口をこすり、付着した液剤や汚れを取り除きます。液剤や汚れが落ちにくい場合は、何度か繰り返してください。エタノールが噴霧口に残った場合は、新しい綿棒で吸い取ってください。



- 霧化ユニット(噴霧口の中央部)に綿棒を押しつけたり、強くこすったりしないでください。霧化ユニット破損の原因になります。
- 樹脂部品破損のおそれがありますので、噴霧口以外にエタノールが付着しないようご注意ください。エタノールが噴霧口以外に付着した場合は、すぐに拭き取ってください。

本体の清掃

- 吸気口の汚れを綿棒などで取り除きます。
- 本体をやわらかい布で拭き取ります。落ちにくい汚れは、中性洗剤溶液に浸した布を固くしぼってからふき取り、その後乾いたやわらかい布でふき取り本体に洗剤が残らないようにしてください。



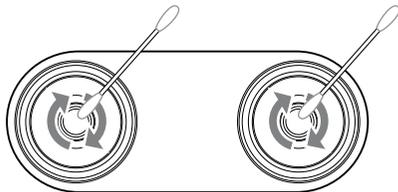
中性以外の洗剤は使用しないでください。本体を傷つける可能性があります。

長時間で使用にならないとき

- お手入れをしたあと、噴霧口やボトルトレーに液剤や水分が残らないようふき取ってください。
- ポリ袋などの湿気を通さない袋に入れ、高温多湿、直射日光を避けてゴミやほこりの少ない場所に保管してください。



噴霧口に液剤が残ったまま長時間放置すると、液剤の成分が固着して、噴霧できなくなるおそれがあります。「噴霧口の清掃」⇒p.54の手順にしたがい、必ず噴霧口についた液剤や汚れを取り除いてから保管してください。



故障かな？

症状	確認事項	対処
電源が入らない 動作しない	バッテリーの残量がなくなっていますか？	「準備 1:USB電源を接続する / 充電する」⇒ p.23の手順にしたがい、充電してください。
充電できない	USBケーブルは正しく接続されていますか？	「準備 1:USB 電源を接続する / 充電する」⇒ p.23の手順にしたがい、USB電源を正しく接続してください。
	USB電源アダプターは2A以上供給可能ですか？	USB電源アダプターに異常がないかご確認ください。
液剤が噴霧されない	液剤ボトルは正しく取り付けられていますか？	「準備 4:液剤をセットする」⇒ p.29の手順にしたがい、液剤ボトルを取り付けてください。
	液剤ボトルが空になっていませんか？	新しい液剤ボトルに交換してください。
	噴霧チャンネル設定は正しく行われていますか？	「準備 5:噴霧チャンネル設定を行う」⇒ p.31 の手順にしたがい、噴霧チャンネルを選択してください。
	スケジュール運転をしていませんか？	スケジュール運転において噴霧設定されていない時間帯は噴霧されません。

症状	確認事項	対処
噴霧が停止する。	<p>バッテリー残量がなくなっていますか? (「バッテリー残量確認」⇒ p.37)</p> <p>フロントパネルを右端まで開けましたか?</p>	<p>「準備 1: USB電源を接続する / 充電する」⇒ p.23の手順にしたがい、充電してください。</p> <p>ボトルトレイが下がると運転を停止します。ボトルトレイが上昇する位置までフロントパネルを閉め、「準備 5: 噴霧チャンネル設定を行う」⇒ p.31の手順にしたがい、噴霧チャンネルを選択してください。</p>
空のボトルインジケータ 一□が点灯または点滅する。	<p>液剤がなくなっていないですか?</p> <p>実際の液剤残量と噴霧残量設定がずれていませんか?</p>	<p>新しい液剤ボトルに交換してください。</p> <p>液剤ボトルに液剤が残っている場合は、「準備 4: 液剤をセットする」⇒ p.29の手順にしたがい、もう一度液剤残量設定を行ってください。</p>
液剤の噴霧量が少ない。	<p>噴霧口に液剤が溜まっていますか?</p> <p>液剤ボトルについている吸水芯は曲がっていませんか?</p>	<p>「お手入れのしかた」⇒ p.53の手順にしたがい、噴霧口をお手入れしてください。</p> <p>吸水芯をまっすぐにしてから、再度液剤ボトルを取り付けてください。</p>

症状	確認事項	対処
異音がする	本体に内蔵されている噴霧ユニットの駆動音やファンの運転音が聞こえることがあります。	異常ではありませんのでそのままお使いいただけます。
警告インジケータ  が点灯している。 「警告確認」⇒ p.49で Er 01 または Er 02 が表示されている。	周囲の温度が低温または高温になっていませんか？	低温時または高温時は正常に噴霧できなくなるおそれがあります。ご使用になる環境の温度を確認してください。
警告インジケータ  が点灯している。 「警告確認」⇒ p.49で Er 03 以上の値が表示されている。	継続して表示される場合は、本体に異常が発生している可能性があります。	お買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

仕様

PETAL 001

型名	PTL-001
電源	DC 5 V
消費電流	2 A以下
外形寸法	幅 約291 mm × 奥行 約93 mm × 高さ 約174 mm
質量	約2.4 kg(本体のみ)
搭載液剤ボトル数	2本 (100mL/本)
USBケーブル	約1.5 m
付属品	取扱説明書、保証書、クレードル、USBケーブル

仕様および外観は改良のため予告なく変更する事があります。
本製品を運転したことによる周囲の影響については一切の責任を負いかねます。

製品に関する最新情報
使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は
カドーサポートサイト

<https://cado.com/jp/support/>



お電話での対応をご希望のお客様は

カドーサポートセンター

0120-707-212

通話料無料 受付時間 9:00 ~ 17:00
土・日・祝、弊社休業日を除く

本製品は国内専用です。電源や法規制の異なる海外では使用できません。

国外に持ちだされた製品は、保証期間内であっても修理サービスの適用外です。

This product is for domestic use only and cannot be used in any other country with different voltages, frequencies, laws and regulations.

The warranty is only valid in the country the product was purchased and the product brought outside the country is not eligible for warranty repair services.

株式会社カドー

〒108-0071 東京都港区白金台4-2-11

